

令和 7 年度 全国学力・学習状況調査結果について

喜多方市教育委員会

1 はじめに

全国学力・学習状況調査（以下「調査」と言う）については、平成 19 年度から文部科学省において実施されてきました。（平成 23 年度は東日本大震災のため、令和 2 年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響のためそれぞれ中止）

喜多方市教育委員会では、この調査の結果について、本市における教育施策を検証・改善するための指標の一つとして活用してきました。

また、本市では、令和 3 年度より全ての小・中学校に学校運営協議会を設置し、「コミュニティ・スクール」としたところであり、学校運営について、保護者や地域住民の皆様とともに連携・協働しながら進めております。教育委員会としましては、この調査の結果につきましても、保護者や地域住民の皆様と共有すべき重要な情報の一つと考えております。

これらのことから、教育委員会では、市民の皆様に対して、市全体の平均正答率について教科別に数値でお知らせいたします。今回公表する調査の結果については、これまでの学校教育における取組の結果であると受け止め、今後の教育施策へ反映してまいりたいと考えております。

保護者の皆様には、この度の公表内容に加え、各学校から提供される情報をご覧くださいとともに、家庭学習と生活習慣の確立やメディア接触や地域とのつながりの望ましいあり方等について家庭が果たすべき役割もご理解いただきたいと思います。

子どもたちの健全な成長のために、教育委員会や学校としても今後とも一層努力してまいります。保護者や地域住民の皆様の協力も不可欠であると考えています。今後とも互いに連携した取組を進めていきたいと思っておりますので、ご理解とご支援をいただきますようお願いいたします。

なお、公表結果については、次の点についてもご理解ください。

- 今回の公表は、過度の競争や学校の序列化を意図したものではありません。
- 公表する調査結果は学力の一部を表したものであり、学校教育の成果の全てではありません。

2 調査の概要

(1) 調査目的

- 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- 教育に関する継続的な検証改善サイクルの確立に役立てる。

(2) 調査内容

- ① 教科に関する調査
 - ア 小学校：国語、算数、理科
 - イ 中学校：国語、数学、理科（理科のみオンライン方式による調査）
- ② 質問調査（オンライン方式による調査）
 - ア 児童生徒質問調査
 - ※ 生活習慣、学習習慣、学習に対する興味・関心等
 - イ 学校質問紙
 - ※ 学校運営、授業改善の取組状況、指導方法等

(3) 調査概要

実施期日	令和7年4月17日（木）	
実施学年及び人数	小学校6年生 324名【16校】	中学校3年生 316名【7校】

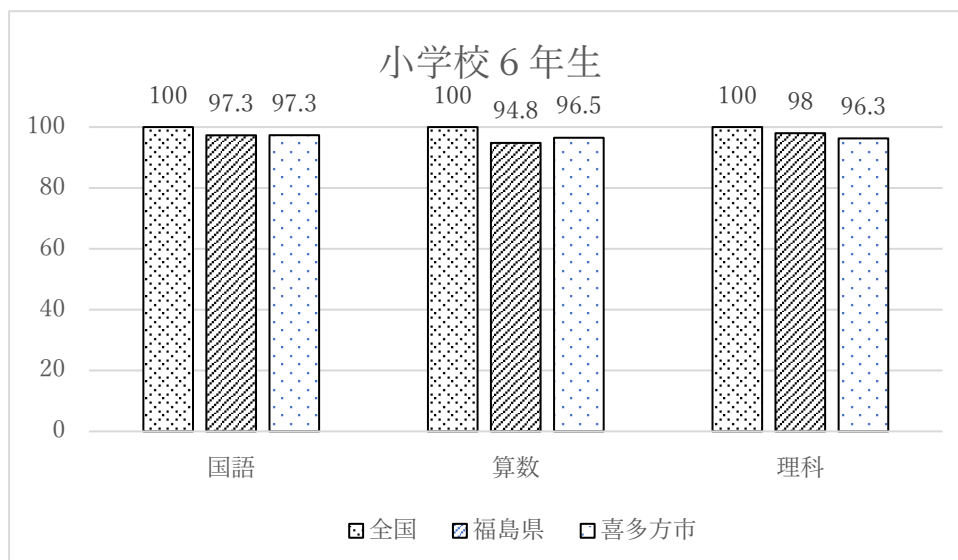
- 令和7年度 全国学力・学習状況調査の問題等
→ <https://www.nier.go.jp/25chousa/25chousa.htm>
- 令和7年度 全国学力・学習状況調査の結果等
→ <https://www.nier.go.jp/25chousakekkahoukoku/>

【国立教育政策研究所ホームページ】

(4) 調査結果 ※全国の平均正答率を 100 とした場合

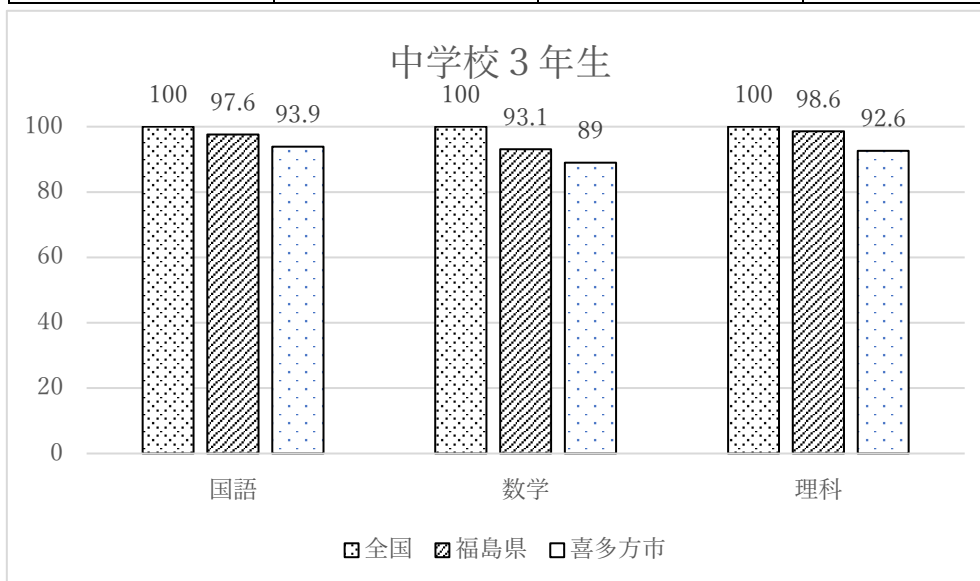
① 小学校 6 年生

	全国	福島県	喜多方市
国 語	100	97.3	97.3
算 数	100	94.8	96.5
理 科	100	98.0	96.3



② 中学校 3 年生 ※理科のみ：全国 IRT スコアを 100 に換算した数値

	全国	福島県	喜多方市
国 語	100	97.6	93.9
数 学	100	93.1	89.0
理 科	100	98.6	92.6



(5) 結果に見る本市児童生徒の特徴【各教科】

① 小学校 6 年生

	成果が見られた設問	課題が見られた設問
国語	<p>○ 時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気づくこと →【設問番号 3 一】</p> <p>○ 時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体をとらえること →【設問番号 3 二（1）】</p>	<p>● 事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ文章全体の構成を捉えて要旨を把握すること →【設問番号 3 二（2）】</p> <p>● 目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つけること →【設問番号 3 三（1）】</p>
算数	<p>○ 角の大きさについて理解すること →【設問番号 2（3）】</p> <p>○ 伴って変わる二つの数量の関係に着目し、必要な数量を見いだすこと →【設問番号 4（1）】</p>	<p>● 台形の意味や性質について理解すること →【設問番号 2（2）】</p> <p>● 分数の加法について、共通する単位分数を見だし、加数と被加数が、共通する単位分数の幾つ分かを数や言葉を用いて記述すること →【設問番号 3（2）】</p>
理科	<p>○ 赤玉土の粒の大きさによるしみ込み方の違いについて、赤玉土の量と水の量を正しく設定した実験の方法を発想し、表現すること →【設問番号 1（1）】</p> <p>○ 電流がつくる磁力について、電磁石の強さは巻き数によって変わることの知識が身についていること →【設問番号 2（3）】</p>	<p>● 身の回りの金属について電気を通す物、磁石に引き付けられる物があることの知識が身についていること →【設問番号 2（1）】</p> <p>● 顕微鏡を操作し、適切な鏡にするための技能が身に付いていること →【設問番号 3（2）】</p>

② 中学校 3 年生

	成果が見られた設問	課題が見られた設問
国語	<p>○ 目的に応じて、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすること →【設問番号 1 二】</p> <p>○ 自分の考えが明確になるように、論理の展開に注意して、話の構成を工夫すること →【設問番号 2 三】</p>	<p>● 資料や機器を用いて、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫すること →【設問番号 2 四】</p> <p>● 文章の構成や展開について、根拠を明確にして考えること →【設問番号 3 四】</p>
数学	<p>○ 相対度数の意味を理解していること →【設問番号 5】</p> <p>○ 証明を振り返り、証明された事柄を基にして、新たに分かる辺や角についての関係を見いだすこと →【設問番号 9（1）】</p>	<p>● 素数の意味を理解していること →【設問番号 1】</p> <p>● 総合的・発展的に考え、条件を変えた場合について、証明を評価、改善すること →【設問番号 9（2）】</p>
理科	<p>○ 身近な電化製品の電気回路において、回路に抵抗がついている理由についての知識が身に付いていること →【設問番号 3（2）】</p> <p>○ 火災における適切な避難行動をとるために必要な気体の性質に関する知識が概念として身に付いていること →【設問番号 4（2）】</p>	<p>● 小腸の柔毛、肺の肺胞、根毛に共通する構造について学習する場面において、共通性と多様性の見方を働かせながら比較し、多面的、総合的に分析して解釈すること →【設問番号 7（1）】</p> <p>● これまで学習した理科の知識及び技能を基に、化学変化の分解の知識が概念として身に付いていること →【設問番号 7（2）】</p>

(6) 結果に見る本市児童生徒の特徴【質問紙】

※ 数値は「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と肯定的な回答を選択した児童生徒の割合

① 小学校6年生

	質問事項	喜多方市	全国との差	全国
強 み	困りごとや不安がある際に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。	79.2%	+8.6	70.6%
	分からないことやくわしく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか。	88.5%	+6.8	81.7%
	学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか。	83.4%	+4.0	79.4%
	5年生までに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか。	81.6%	+3.8	77.8%
	あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか。	86.7%	+3.4	83.3%
課 題	あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器で文章を作成する(文字・コメントを書くなど)ことができていると思いますか。	68.3%	-13.5	81.8%
	5年生までの学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用して自分のペースで理解しながら学習を進めることができていましたか。	71.6%	-9.7	81.3%
	5年生までの学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用して友達と考えを共有したり比べたりすることができていましたか。	75.8%	-8.8	84.6%

② 中学校 3 年生

	質問事項	喜多方市	全国との差	全国
強 み	将来の夢や目標を持っていますか	76.0%	+8.5	67.5%
	学級の話合いを生かして、今、自分が努力すべきこと決めて取り組んでいますか。	82.3%	+5.0	77.3%
	あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか。	88.6%	+4.3	84.3%
	授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができていますか。	78.2%	+3.4	74.8%
	1、2年生のときに受けた授業で、各教科で学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか。	73.7%	+3.1	70.6%
課 題	あなたは自分が P C ・ タブレットなどの I C T 機器で文章を作成する（文字・コメントを書くなど）ことができていると思いますか。	70.6%	-13.0	83.6%
	あなたは自分が P C ・ タブレットなどの I C T 機器を使って情報を整理することができていると思いますか。	50.9%	-12.4	63.3%

小学 6 年生・中学 3 年生に共通して、授業で学んだことを生かして、「自分の考えをまとめる活動を行う」ことや「次の学習につなげる」ことができていると考えられます。また、よりよい学級をつくっていくために、互いの意見のよさを生かして様々な課題の解決方法を決めていくことができおり、充実した話合いが行われていると考えられます。以上のことより、本市の授業改善の取組が児童生徒の学びの変容につながっていること、また、学びの土台となる互いの考えを尊重し合える学級風土づくりが進んでいると考えられます。

その一方で、「I C T を活用した学習」に課題が見られました。昨年度と比べると、肯定的な回答の割合は増加していますので、引き続き、タブレット等の効果的な活用について、全国の好事例等を参考にしながら推進していく必要があると考えます。

全国平均との差は
「およそ1問」と
いう数値です！

学力向上に向けた取組

喜多方市教育委員会

「あと1問」の意識を高めるために
～学校・家庭・地域・教育委員会が手を携えて～

学校・家庭・地域・教育委員会が、それぞ
れの立場で「何ができるか」「何が必要か」
について知恵を出し合っていきましょう！

指導主事の派遣

- ◎ 学校教育課の指導主事と学校経営アドバイザーが各学校を訪問し、全国学力・学習状況調査の結果及び分析をもとに、管理職の先生等と授業改善について一緒に考えます。
- ◎ 各校での話合いの内容や実効のある取組について、各校に情報発信し、授業の質的改善の「次の一手」につなげます。

P D C Aサイクルの確立

- ◎ 各学校において、全国学力・学習状況調査、ふくしま学力調査の結果の分析を行います。特に、ふくしま学力調査については、児童生徒一人一人の伸び等を把握することで、授業改善につなげていきます。
- ◎ 上記2つの調査を踏まえた授業改善の成果について、ベネッセ総合学力調査において検証します。

全国学力・学習状況調査の問題の活用

- ◎ 全国学力・学習状況調査の問題を授業や中学校の定期考査等において活用することで、児童生徒の既習事項の振り返りにつながります。
また、「ジャンプの課題」として活用することも考えられます。

学校を支える
家庭・地域

家庭：家庭学習のあり方や子どもたちの生活について、共に語り合う時間を設ける
地域：よりよい生活習慣や規範意識を確立させるため、あいさつや日常的な関わりを今以上に意識する